

特別賛助会員ご協力をお願い

昨年度は、個人会員689名、企業会員38団体より総額910,000円のご協力を得ました。コロナ禍で大変厳しい生活環境の中、多大なるご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

この協力金は、子育て支援、高齢者支援、障害者支援の対策に50万円、自主防災会に8万円、残額は災害時のために積み立てさせていただきました。

終息の見えないこのような情勢の中で会員募集をさせていただきますことに心苦しさを感ずますが、「何があっても支えあえる町づくり」を目標に、皆様方のご協力を仰ぎながらコロナ禍を乗り越えて参りたいと思っております。

つきましては、特別賛助会員募集の趣旨をご理解いただき、11月1日から11月25日の期間でご協力下さいますようお願い申し上げます。尚、匿名希望の方は申込書の名前の欄の下に「匿名希望」とお書き下さい。ふじおの福祉だよりにお名前を掲載しません。

おまかせパトロール実態調査協力をお願い

大津市でも不審者、変質者などの事件が多発しています。毎年11月に行っております「おまかせパトロールの実態調査」のご協力を今年もお願いいたします。今年から集計表を簡素化し、みなさんに書いていただいたお気づきのことを、地域の安全に生かしていきたいと思っております。

福祉委員がお伺いいたしますので、たくさんのご協力をお願いします。

1. 調査用紙：福祉委員が協力者にお渡しします。
2. 調査期間：11月1日から30日までの1か月間
3. 提 出：12月10日までに福祉委員に渡してください。



敬老の日に手作りの祝い品を贈呈しました

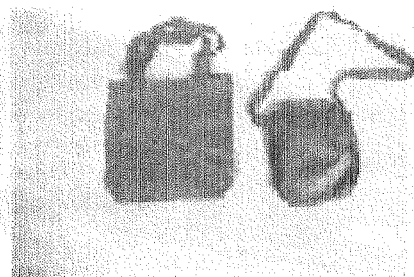
☆70歳（昭和27年4月1日～昭和28年3月31日生まれ）

男性40名 女性37名 合計77名

☆88歳（昭和9年4月1日～昭和10年3月31日生まれ）

男性16名 女性25名 合計41名

平成22年に発足しましたボランティアグループ「若葉の会」が、毎年敬老の日に手作りの祝い品を贈呈しています。藤尾は大津市内でも高齢化率は高く、人数が多いために70歳と88歳になられる方に限定させて頂いております。今年は男性にはショルダーバッグ、女性には手提げバックを贈らせていただきました。ご活用ください。各自治会の福祉委員の方を通じて、9月14日にお届けさせて頂きました。



左は女性用 右は男性用

ウトロ平和祈念館と平等院の見学の報告

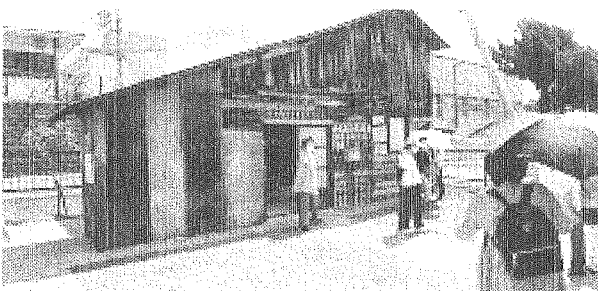
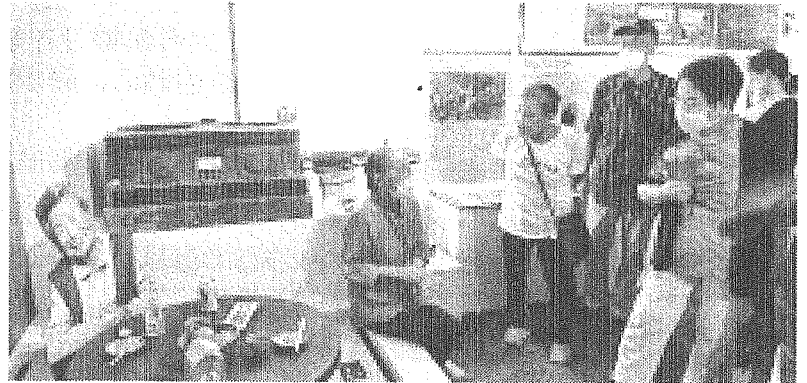
生きること、つながること、あきらめないことの大切さを学んだ〈ウトロの記録〉

9月13日参加者31名で、社会福祉協議会、「人権・生涯」学習推進協議会共催の研修会、〈ウトロ平和祈念館と世界遺産平等院の見学会〉を行いました。ウトロ平和祈念館では館長の田川明子さんのお話を聞き、その後2階の展示室でウトロ地区の成り立ちから、地区に住み続ける権利を手にするまでの人々の暮らしやたたかいの歴史の写真を祈念館の方の解説とともに見ていきました。

大きな社会運動にもかかわらず、写真の住民の方たちの表情は明るく、生き生きしているのが印象的でした。

平等院は改装も終わり鳳凰堂の赤が美しく池に映っていました。

たくさんのご参加ありがとうございました。



参加者からの感想

ウトロ地区は、戦争中に朝鮮人の方々が京都の飛行場の建設に従事し、戦後に職をなくして残らざるをえなかったという歴史があります。ウトロ平和祈念館の館長のお話の中で印象に残ったことは2つです。

1つ目は、『単にウトロの人たちをかわいそうと思わないでください。住民の人たちが声をあげ、社会を少しずつ変えている、そのことを感じてください』

2つ目は、ウトロ地区放火事件に関して言われたことで、『被告は在日に会ったこともなく(インターネットの情報だけを信じて)犯行におよんだことが衝撃でした』です。

マジョリティがマイノリティを不安にさせない社会を創っていくことの必要性を感じました。現在、藤尾にもいろいろな国の方々が住んでおられます。皆が『藤尾に住んでよかった』と思う街にしていきたいですね。

桜ヶ丘 鶴田美奈